

# 議会だより

平成26年  
8月1日  
発行

第20号

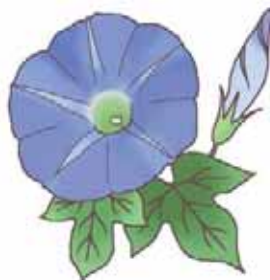


↑ 天王祭(宵祭)(ユネスコ無形文化遺産候補)

※議会だよりは、3月・6月・9月・12月の年4回の定例会、また、必要に応じて開催される臨時会の内容を中心に編集しており、2月・5月・8月・11月に発行します。

● 議会報告会	16
● 第3回定例会の予定	15
● 委員会レポート	12
● 一般質問	5
● 議会レポート・議案に対する討論	3
● 議案に対する賛否一覧	3
● 議決結果	2

## 目次



議会報告会を開催します。  
詳しくは16ページをご覧ください。

お知らせ

8月22日・23日及び24日に

## ◎平成26年第1回津島市議会臨時会 議決結果

- ★議案第37号 津島市職員の給与に関する条例の一部改正について……………全員で可決
- ★議案第38号 津島市副市長定数条例の一部改正について……………多数で可決
- ★議案第39号 津島市監査委員の選任について……………全員で同意

## ◎平成26年第2回津島市議会定例会 議決結果

- ★議案第40号 津島市表彰条例の一部改正について……………全員で可決
- ★議案第41号 津島市市税条例等の一部改正について……………多数で可決
- ★議案第42号 津島市国民健康保険税課徴収条例の一部改正について……………多数で可決
- ★議案第43号 津島市心身障害者医療費支給条例等の一部を改正する条例について……………全員で可決
- ★議案第44号 津島市火災予防条例の一部改正について……………全員で可決
- ★議案第45号 津島市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する  
条例の一部改正について……………全員で可決
- ★議案第46号 津島市学校給食共同調理場設置条例の一部改正について……………全員で可決
- ★議案第47号 平成26年度津島市一般会計補正予算(第1号)について……………多数で可決
- ★議案第48号 平成26年度津島市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について……………全員で可決
- ★議案第49号 平成26年度津島市コミュニティ・プラント事業  
特別会計補正予算(第1号)について……………全員で可決
- ★議案第50号 平成26年度津島市介護保険特別会計補正予算(第1号)について……………全員で可決
- ★議案第51号 平成26年度津島市上水道事業会計補正予算(第1号)について……………全員で可決
- ★議案第52号 海部津島土地開発公社の解散について……………全員で可決
- ★議案第53号 津島市副市長の選任について……………全員で同意
- ★議案第54号 津島市子ども医療費支給条例の一部改正について……………全員で可決
- ★議案第55号 平成26年度津島市一般会計補正予算(第2号)について……………全員で可決
- ★議員提出議案第4号 B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書……………全員で可決
- ★議員提出議案第5号 地域包括ケアシステム構築のため地域の实情に  
応じた支援を求める意見書……………多数で可決
- ★議員提出議案第6号 TPP(環太平洋経済連携協定)交渉に関する意見書……………全員で可決
- ★議員提出議案第7号 日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書……………全員で可決
- ★請願第3号 「日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める」  
意見書採択を求める請願……………全員で採択
- ★請願第4号 「さらなる年金削減の中止を求める意見書」を国に提出を求める請願……………少数で不採択
- ★請願第5号 集団的自衛権の行使容認をしないよう国へ意見書提出を求める請願……………少数で不採択
- ★請願第6号 医療・介護綜合法案を撤回するよう国へ意見書提出を求める請願……………少数で不採択

◎開かれた議会を目指す取り組みとして、議員がどの議案に賛成したか、反対したかを一覧表にして掲載しています。

平成26年第1回臨時会及び第2回定例会【議案に対する賛否】 賛成:○ 反対:× 採決不参加:一

議案番号	件名	改革クラブ				新市民クラブ			青風会			共産党議員団		新生クラブ		公明党つしま		無党派		無党派	
		東国伸	津田秀幸	後藤敏夫	加藤則之	日比野郁郎	議長 長尾日出男	加藤哲司	安井貴仁	大鹿一八	上野聡久	山田真功	杉山良介	伊藤恵子	垣見信夫	西山良夫	本田雅英	森口達也	宇藤久子	小山高史	無党派
第1回臨時会																					
38	津島市副市長定数条例の一部改正について	○	○	○	○	○	一	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×
第2回定例会																					
41	津島市市税条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	一	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
42	津島市国民健康保険税賦課徴収条例の一部改正について	○	○	○	○	○	一	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
47	平成26年度津島市一般会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	一	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
52	海部津島土地開発公社の解散について	○	○	○	一	○	除斥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	津島市副市長の選任について	○	○	○	○	○	一	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出5	地域包括ケアシステム構築のため地域の実情に応じた支援を求める意見書	○	○	○	○	○	一	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
請願4	「さらなる年金削減の中止を求める意見書」を国に提出を求める請願	×	×	×	×	×	一	×	×	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○
請願5	集団的自衛権の行使容認をしないよう国へ意見書提出を求める請願	×	×	×	×	×	一	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○
請願6	医療・介護総合法案を撤回するよう国へ意見書提出を求める請願	×	×	×	×	×	一	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×

※議長は採決に加わっておりません。※全員が賛成した議案は記載を省略しています。※除斥:本人に関わる議案のため、採決に加わっておりません。

## 議会レポート

REPORT



市長は任期中、副市長1人でやっていると口約束では信用できない。この議案は副市長を2人から2人以内にするという議案であり、全く何も変わらないので反対する。

### 《反対討論》

#### 議案第38号 副市長定数条例の一部改正

#### 議案に対する討論

5月12日と13日に開催し、議長、副議長をはじめ、常任委員会などの委員が選任されました。

### 第1回臨時会



### 第2回定例会

6月2日から24日まで開催し、9日と10日の2日間、各党派6名による代表質問と、8名の議員による一般質問(個人)を行いました。  
今定例会では、議案15件、議員提出議案4件を可決し、人事案件1件を同意しました。  
請願は1件を採択し、3件は不採択となりました。

#### 議案に対する討論

#### 議案第41号 市税条例等の一部改正

#### 《反対討論》

自動車取得税を廃止する対案として、軽自動車税等を引き上げるもの。公共交通機関が衰退し、交通手段として必要な自家用車であるが、経費を削るために軽自動車に乗り換えてきた庶民に重い負担を課すもの。

#### 《賛成討論》

地域間の税源の偏在性を是正し、財政力格差の縮小を図るため、法人税割の税率を引き下げるとともに、新たに地方法人税を創設し、その税収全額を地方交付税の原資とし、税制の抜本改革を着実に実施するために欠かせない。



**議案第42号  
国民健康保険税賦課徴収条例  
の一部改正**

《反対討論》

国保税の最高限度額を引き上げるものであるが、今回対象の後期高齢者支援分には7%、介護分には3%の資産割が含まれており、所得を生み出さない土地等への課税も増えるので反対。

《賛成討論》

低所得者への配慮となる軽減措置を拡充し、担税力のある高額所得者の限度額を引き上げるのは、負担額の平準化からも必要であるので賛成。



**議案第47号  
一般会計補正予算(第1号)**

《反対討論》

プライバシー侵害が常態化し、費用対効果が示されていない「マイナンバー制度」導入のための予算、制度実施ありきで、利用者不在の子ども・子育て新制度導入のための予算が含まれており反対。

《賛成討論》

こころの体温計運営管理業務委託料について、手軽にセルフチェックができ、自身の状態がどうなのかを知るだけでなく、フオロー体制も考えているので、悩みを抱えている人には非常に有難く、自殺予防の役割を期待する。

南文化センターの備品購入費368万円余は、南文化センターが利用し易いように改修工事を実施することに合わせ、カーテン、椅子などを整備するもので、利用者のサービス向上となる事業であり賛成。



**議案第51号  
上水道事業会計補正予算  
(第1号)**

《賛成討論》

又吉配水場で、老朽化しているポンプや電機設備等の更新や配水池の解体改修を行う実施設計であり、1月に起きた断水事故を2度と起こさないように、また市民に安心安全な水の提供を持続していく事を望み賛成。

**議案第54号  
子ども医療費支給条例の一部改正**

《賛成討論》

少子化に歯止めをかけ、安心して子育てのできる津島市を目指す上でも更なる子育て支援策を図り、その中での重要課題として、医療費助成の更なる拡大策を盛り込み、子育て丸ごと応援できる津島市を目指す事を望む。

市長は、議員時代に「子ども医療費の無料化を小学校卒業まで拡大する」請願と決議に賛成しているが、今回小学校3年生までの拡大に留めた事で市民は落胆している。これから更なる拡大がされることを望み、賛成。



**議員提出議案第5号  
地域包括ケアシステム構築の  
ため地域の実情に応じた支援  
を求める意見書**

《反対討論》

自己責任と市場化を理念に、入院から在宅へ、医療から介護へ、介護から市場化・ボランティアへのシフトで公費抑制をする「医療・介護総合法」が前提となっており、しかもその財源を消費税増税に求めているので反対。

《賛成討論》

年々増大する社会保障費を社会保障と税の一体改革により消費増税分を全て充てる。高齢者が住み慣れた地域で医療・介護、生活支援サービスを一体的に受けられる地域包括ケアシステムの構築を推進するために本議案に賛成。



**請願第3号  
「日本政府に核兵器全面禁止  
のための決断と行動を求める」  
意見書採択を求める請願**

《賛成討論》

核兵器の全面禁止は国境をこえた人類共通の願いとなっている。核兵器をなくすためには、国際社会が一致して、全面的に禁止する以外に方法はない。世界で唯一、被爆体験をした日本が全面禁止を主張する責任がある。

被爆者の方や2世・3世の方々の願いは核兵器をなくすことである。人種やイデオロギーに関係なく人間が作った核兵器・人間の手で永久になくすることを津島市から政府へ、世界へ発信することは必要で有意義である。

## 請願第4号

「さらなる年金削減の中止を求める意見書」を国に提出を求める請願

## 《反対討論》

給付水準維持のためには、物価スライドが必要である。過去の分も加味し、年金は下がったが、低所得者には、臨時福祉給付金や年金生活者支援給付金等により補完されるので反対。

年金額は、物価の変動に応じ年度毎に改定される。物価が下落した時、年金額を据え置いたので段階的に水準を解消することになった。年金生活者給付金制度も始まる。年金制度維持のため国の施策を見守るべきである。

## 《賛成討論》

10年余り前の物価下落を理由に3年かけて2.5%の引き上げが行われている。年金生活者の半数近くが月額10万円未満で消費増税、物価が上がり社会保障の負担も増大する中、これ以上の削減は中止すべき。

## 請願第5号

集団的自衛権の行使容認をしないよう国へ意見書提出を求める請願

## 《反対討論》

国連憲章第51条の規定、拉致問題や尖閣諸島・竹島の領土問題など周辺諸国との緊張、日米防衛体制の変遷など世界の趨勢を鑑みても抑止力としての集団的自衛権は持つべきである。

## 《賛成討論》

集団的自衛権の行使容認をしないよう国の将来にかかわる重大な問題を一内閣の判断だけで憲法の平和原則を本質的にかえてしまうようなやり方は許さないという国民多数の声を政府に届けるのは大切なことである。

閣議決定や、憲法解釈の変更などの姑息なやり方ではなく、憲法改正で国民に信を問うべき。

## 請願第6号

医療・介護総合法案を撤回するよう国へ意見書提出を求める請願

## 《反対討論》

団塊の世代が75歳以上になる2025年を見据え、地域において効率的で質の高い医療・介護の提供体制を構築するために医療法や介護保険法などを見直すこの法律は必要であるので反対。

## 《賛成討論》

年収280万円以上の人の介護利用料を2割に、要支援者への訪問・通所介護を保険給付から外し地域支援事業に、特養入所は要介護3以上に限定、急性期病床を9万床削減など、医療介護の難民化を一層深刻にする。

## 各会派代表質問

改革クラブ 後藤 敏夫

## 市長の施政方針に関する件

## 質問

市長の考え方、優先する施策等についてと副市長を選任した思い又副市長の受任の決意は何であったかを問う。

## 市長

津島市に住んで良かったと実感できるまちの取り組みのために「つしま成長戦略」を掲げ、人口減少に歯止めをかけるために子ども・子育て応援都市を第一番目として子ども医療費を小学校3年生まで完全無料化に取り組み。星野さんは県庁で培われた行政手腕や人材ネットワーク、豊かな経験があり津島で生まれ育ち、郷土愛が深い方なので力を合わせてやっていける。

## 副市長

このまちの人たち、市役所の職員と一緒に、経験や情報ネットワーク等をこのまちの為に役立てることができると。

## 質問

企業誘致に対する優遇制度の拡大と専門組織の設置に関する考え方又、開発許可権限が県から移譲されたことのリットについて問う。

## 市長公室兼生活産業部長

優遇制度は平成24年4月に工場立地法に関連し緑地面積の緩和を実施している。効果的な優遇策や流出防止策が展開できるように専門組織等の設置も検討し、必要な組織強化を図る。

## 建設部長

都市計画法の規定に基づき、市が独自の条例を定めることにより市街化調整区域に新たな工場の建築が認められる。一定の制約はあるが当市にプラスになる土地利用ができる。

## 空き家問題に関する件

## 質問

管理されていない空き家の問題は、社会問題であり多くの自治体で条例制定を含め対応している。当市においても町内活性化検討会で課題とされている。多くの課題が想定されるがどの様に取り組んでいくのか問う。

## 市長

国においても空き家などの対策の推進に関する特別措置法案の動きがある。問題解決に窓口を一本化して取り組む。

## 副市長

管理放棄による問題に対処するには、条例等の強制的な対応も必要になるかとも思うが、状況をきちんと把握した上で対応策、そのための人と仕組みの体制を整えていきたい。



# 各会派代表質問

新市民クラブ 日比野 郁郎

## 企業誘致について

**質問** 今後、企業誘致はどのように進めるか。

**市長** 優遇政策などを十分に検証し、農地の利活用を尊重しながら、総合計画における土地利用計画の見直しを初め優遇政策の制度を拡大するなど、効果的な誘致策を講じていきたい。

**質問** 企業誘致の土地はどのように確保してゆくか。

**市長** 市街化区域での土地確保は極めて困難。市街化調整区域に用地を求め、農地を転用して確保する事になる。

**質問** 農地を転用するに当たり、農地法や都市計画法との関連は。

**市長公室長兼生活産業部長** 農地法は以前と比較し、厳格化した。

## 建設部長

都市計画法は平成18年に改正され、市決定の都市計画について、県との協議は同意を要しないことになった。また、

平成26年4月1日より、開発許可権限が県から本市に移譲された。

市が独自の条例を定める事により、一定の制約は有るものの市街化調整区域において新たな工場の建築が認められるようになった。

**質問** 市が独自に条例を定めることで可能という事だが、無限大に開発は可能か。

**建設部長** 災害の発生のおそれのある場合は禁止されるなど、一定の制約が生じる。

## 防災・減災による「安心・安全なまちづくり」

**質問** 長期避難場所の確保はどうするか。

**建設部長** 近隣市町村と連携して、愛知県に働き掛けて行く。

## 子育て支援対策として

**質問** 市営住宅の跡地を若者向けの住宅建設地として斡旋してはどうか。

**市長** 子育て支援の一つと考えており、今後十分に検討を重ねていきたい。

青風会 大鹿 一八

## 津島市長選挙について

**質問** 市内4つの私立幼稚園の教育現場で、市長選の直前に、日比市長の選挙運動と思われる後援会入会申込書が大量に配布されたことは、教職員の地位利用の禁止、事前運動の禁止に抵触する可能性もあり、問題ではないか。

**市長** 後援会活動として、A園の方に後援会の入会のしおりを渡したことはあるが、その後のことについては一切関わっていない。

**質問** ある幼稚園では、保護者にお金市からの就園奨励費を手渡す時に、後援会入会申込書を配布したとあるが。

**市長** 配布のされ方については、一切私は関知する由も無い。

**質問** 最高30万円ももらう可能性のある就園奨励費を渡す日にチラシを配布していた幼稚園について、特定の園長さんが勝手にやってくれたこと。市長は何も知らないで、一園長さんの責任だけと思ふのか。

**市長** 後援会の入会のしおりをある方に渡しただけで、この日に何をしてくださうとか、何々のときにとか、そういうことを一切した覚えはない。

**市長** 昨年11月図書館で行われた教育懇談会で、A幼稚園より園舎前の道路改修の要望が出され、「日比先生の一言でやってもいい」と園長が語っているが、選挙直前の道路改修は口利きではないのか。

**市長** 道路については、21年から町内要望を受けており、24年度と25年度に工事が進められたものである。

**質問** 計画を知っていたら、幼稚園側から要望のあった昨年11月に、なぜそのような伝えなかったのか。

**市長** 私は心根の優しい議員だから、そこで言う必要はないと考えていた。

**質問** 真実は何かを解明していく意思は。

**市長** 一部の話をごくに持ち出されて、いかなものか。

# QUESTION

日本共産党議員団

伊藤 恵子

## 市長の公約について

質問

他市では医療費無料化拡大はほとんど進んでいる。なぜ今回小学校3年生までなのか。子どもの生存権等を保障する「子ども条例」を制定しては。

市長

低学年は体力も弱く受診率が高いのでサポートする。「子ども条例」制定に向けて準備を進めたい。

質問

南海トラフの被害予想が拡大されたこと、住宅リフォーム助成制度の取り組み、市民団体との懇談会等について対応は。

市長

住宅耐震、家具転倒防止などこれまで以上に支援し、地域ごとの防災対策を進めていきたい。住宅リフォーム助成制度は地域活性化につながる工夫を検討したい。市民の皆様と顔の見える関係を先頭に立って築いていきたい。

## 保育料値上げは子育て応援にならない

質問

新制度では、潜在ニーズも含め利用ニーズを把握したうえで、量の拡充と質の改善が求められているが、体制づ

くり、利用者への周知はどうすすめるのか。現在の保育料は近隣と比べ高く、この機会に引き下げたいとの担当者の声もあったが、国の利用負担イメージでは、保育料が非常に高くなっている。保育料引き上げは子育て応援にならないが愛西市並みに下げるのか。また学童保育の常勤配置の予算化を進めるのか。

## 健康福祉部長

2歳前の入所ニーズが高く、質の向上、保育士の確保が必要。利用者には9月の広報とホームページでお知らせする。保育料は近隣の情報も加味しながら設定する。

学童の人員費はまだ未確定となっているが、国の補助に対応していきたい。

## 上下水道施設、配水管の改善を

質問

今回提案されている改修で1月に発生した断水事故の原因は解決されるのか。また配水管耐震工事で水質は改善されるのか。

## 上下水道部長

老朽化している設備を更新することで改善される。平成25年度から34年度までの計画で、先行避難所や拠点医療施設など給水優先度が高い施設への耐震化、水質改善を図っていく。

新生クラブ

西山 良夫

## まちづくりに関する件

質問

第4次総合計画の中間見直しに、「つしま成長戦略」をどう反映させるのか。

市長

社会情勢の変化の中で、基本計画の各種施策、土地利用計画のゾーニング、重点戦略等に反映させていく。

質問

「天王祭」がユネスコ無形文化遺産登録に採択された場合の市の取り組み。PR効果も含めた意気込みを伺う。

市長

採択されれば大変光栄。全世界に発信できる。映像や冊子などで積極的に紹介し、市民と一緒に盛り上げていく。祭りの一夜だけではなく、年間を通じて体感できる仕掛けづくりを進める。

質問

イベント政策をプロデュースする人材育成と市の重要課題を発掘し、新たな視点での企画や情報発信の力を育てるプロジェクトチームを立ち上げては。

市長

「コミュニティの場」として地域の祭りやイベントは大変重要。地域に住み楽しめ

るまちづくりや人材育成を推進していきたい。

## 少子化対策に関する件

質問

「子育て丸ごと応援施策」ほか、少子化に挑む市長の見解は。

市長

0歳から2歳まで利用できる子育て応援券を発行し、有償サービスに使っていただく。子育て支援センターは、土・日の開設、学童保育は、ニーズに対応した質の向上を図っていく。

## ネット社会の功罪に関する件

質問

教育現場で、ネット利用上のモラルやルールを児童、生徒にどう教えているか。また、庁内の情報管理・対策は。

教育長

学校では倫理面や法律面・安全面から、発達段階に応じた指導を行っている。また、生徒、保護者、教師を対象にネット安全使用教室を開催している。

総務部長

情報を適切に取扱うための「情報セキュリティポリシー」とマニュアルで職員に周知。不正に侵入できないよう、システム上の対策を講じている。



公明党 つしま 森口 達也

**市民病院の25年度決算見込みは**

質問

平成25年度では当初目標の黒字ではなく赤字で、さらに決算では大幅な赤字が見込まれるが、いかがか。

**市民病院事務局長**

平成25年度の決算については、1億9000万円程度の経常損失となる見込み。平成24年度決算と比較すると3億円ほどの改善となったが、経常収支黒字化は残念ながら達成しなかった。

質問

市民病院の経営安定化について、市民病院改革プランは平成25年度で終わつたが、27年度に向けてのプランはどのように考えているか。

市長

地域にとってかけがえのない財産である市民病院の役割がこれまで以上に重要なものになっていると考えている。大学を始めとして関係機関に何度も足を運び、市民病院、医療者を大切にしていくことを発信していく。病院と市が目標を共有し、さらに努力をし、士気を高めていく。

**学校給食共同調理場について**

質問

新共同調理場は設備面、人員配置も整えて供用開始するが、今まで通りに単独校で給食を提供する北、西、南小学校に関して特に衛生面は、どのように改善するのか。

**教育委員会事務局長**

新学校給食共同調理場は、安全・安心な給食を提供するため厨房の床をできるだけ乾いた状態に保ち、小さなゴミが調理室へ流入しないようにエアシャワー室を設置したり、真空冷却機を導入している。単独調理校における衛生面についても平成26年度から順次真空冷却機の導入を計画している。

**学校給食のアレルギー対策について**

質問

平成20年12月、給食を食べた小学校5年生の女子児童が急性アレルギー反応、アナフィラキシーショックを起こして死亡した。学校のアレルギー疾患に対する取組みガイドラインが出されたが、これに基づいた取組みはどのようにしているのか。

**教育委員会事務局長**

愛知県ではこのガイドラインに基づいて、平成22年3月に学校給食における食物アレルギー対応の手引きを作成し、これをもとに食物アレルギー除去食の提供を行っている。

**一般質問 (個人)**

新市民クラブ 安井 貴仁

**青塚駅前、県道蜂須賀白浜線について**

質問

県道蜂須賀白浜線の現在の整備進捗状況はどうか、また今後いつまでにどこまで整備する計画か。

**建設部長**

県において自転車歩行者道設置事業が進められている。これまで、県道あま愛西線と交差する蛭間町西屋敷交差点から、蛭間小学校までの440mがほぼ完了。平成24年度からは、その続きとなる蛭間小学校より北へ300mの事業実施区間として用地買収を進めている。おおむね5年を目標に、早期事業完了に努める。その後は、牧野町付近の天王橋までの区間を引き続き整備するよう県へ働きかける。

質問

市営青塚住宅を含めた今後の青塚駅前のまちづくり計画はどのようにしているのか。

**建設部長**

駅周辺の居住環境の改善、生活利便施設の誘導、市営住宅の利活用の検討など。県道蜂須賀白浜線が青塚駅から北側が狭い状況から、その北側の県道

給父西枇杷島線までの拡幅整備も含めたビジョン策定を進める。

質問

市営青塚住宅の跡地を利用して、若者向けに分譲してはどうか。定住も促進され、将来的には人口増加を見込めると思うがどうか。

**建設部長**

一つの提案として検討する。

**津島駅周辺開発について**

質問

東西駅前広場や都市計画道路を含めた津島駅周辺の一体的なまちづくりはどのようにしているか。

**建設部長**

都市拠点と位置づけ、海部津島地域における中心都市として、商業を始め、多様な都市機能の形成を目指すことも天王通り、津島神社の資源を活かした歴史文化を体感できるまちづくりを推進する。





公明党つしま 本田 雅英

市民病院事業に関して

質問

市民病院では放射線治療ができないため、術前、術後に転院しなければならぬこともある。特殊性のあるサイバーナイフに替えて、身近な放射線治療機器を導入すべきと考えるが。

市民病院事務局長

常勤の放射線治療専門医の確保や有効な機種の選定等の課題はあるが、この地域のがん患者が必要とする医療をトータルで提供するため、2年程度で結論を出したい。

職員手当に関して

質問

通勤手当及び住居手当について、過去4回にわたり質問し、一定の改善は見られたが、まだ国に比べて高い状況である。持続可能な行財政基盤を確立するためにも見直すべきと考えるが。

市長

地方公務員の給与は、国家公務員に準じるのが原則である。国に準じて通勤手当の引き下げ及び住居手当の持ち家部分の廃止について、平成27年度から実施できるよう、職員組合と早々に協議する。

国民健康保険事業に関して

質問

加入者の変化に伴い、資産税割の課税意義が制度開始時期から変遷している。減額あるいは廃止等の見直しが必要と考えるが。

市長

現時点では、資産税割は安定的な保険収入のため必要である。しかし、固定資産税との重複感や所得が少なくても課税されることへの抵抗感もあるので段階的に引き下げる。

質問

国保財政への法定外繰入金は、他市に比べて低い状況である。特定健診の繰入金も含めて増額する必要があると考えるが。

総務部長

特定健診は、過去には基本健康診査として、市が相応の負担をした事実からも一定の財源措置への考慮が必要と認識する。国保会計の安定性には、まずは収納率の向上が不可欠であるが、国保会計の責務だけでは解決できない状況も想定される。基準外繰り出しについては、他市の状況、制度の見直し等を踏まえ、担当部署と十分に協議しながら、市全体の財政状況と施策等のバランスを考慮し検討する。

青風会 上野 聡久

手話言語条例について

質問

全国各地で手話言語法の制定に向けた意見書が提出をされており、津島市でも全会一致で意見書が採択されたことを重く受け止め、手話言語条例を制定しては。

健康福祉部長

津島市でも、手話言語法の制定についての請願が採択されていることから、手話の普及啓発について最大限努力をしていく必要がある。

そのために、手話言語条例を制定する方法もあるが、まずは聴覚障がい者の方や関係団体等とよく検討し、できることから着実に実施していきたい。

学童保育について

質問

学童保育の保育料が高く通えないという声も聞く。二人三人となったら大変。減免制度を設けては。

健康福祉部長

事業の見直しにあわせて検討していきたい。

質問

一つの施設で40人を超えるような大規模学童は、分割すべきではないか。

健康福祉部長

国の基準もあり、分割して対応していく。

質問

現在、支出している補助金を増額するのが保育料の軽減に一番効果がある。増額すべきではないか。

市長

時間延長なども踏まえ、ニーズに合った対応を検討する中で、補助の増額も視野に入れ施策を打っていく。

子ども医療費無料化について

質問

選挙で市長は、拡大枠は財源を見てということだった。無料化拡大については今後も段階を踏んで引き上げていくのか。

健康福祉部長

限られた財源の中で様々な支援策をとり、意見を伺いながら検討していくことになる。





## 一般質問

日本共産党議員団

杉山 良介

### 非戦・核兵器廃絶都市宣言の継承

質問

昭和57年3月、市議会において全会一致で可決された宣言の恒久平和と核兵器の廃絶という精神は継承されるべきだと考えるが、いかがか。

市長

市ではこの宣言の精神は今日まで引き継がれている。今後も宣言の精神を継承していきたいと考えている。

### 平和市長会議への参加を

質問

非核都市宣言の取り組みの一つとして平和市長会議への参加が大切であると思うが、いかがか。

市長

現在では町村長の加入もあり、平和首長会議と名称を変更している。参加については前向きに進めていく。

### 集団的自衛権行使容認の動き

質問

新聞の社説でも、戦争放棄と戦力不保持の憲法9条に基づいて、集団的自衛権の行使を認めないのは戦後日本の国の形である。それを一内閣の判断で

変えていいはずがないと指摘をしている。ぜひ市長の見解を聞きたい。

市長

国の動向を注視していきたい。広域的、国民的な議論をふまえた上で、慎重にも慎重を重ねて対応していきたいと考えている。

### 就学援助に関する件

質問

生活保護の切り下げや消費税の増税への対応について、今年度の就学援助費の支給額について、国の方針通り対応がされているのか。

教育委員会事務局長

当市としては、生活扶助基準の見直しに伴う影響が出ないように対応している。消費税引き上げの対応としては、学用品費、通学用品費、修学旅行費の増額をする。

### 生涯学習センターの利用率向上を

質問

この一年を見ても市外の方の利用は少ない。市外の3倍の料金見直しを。

教育委員会事務局長

施設の改修、維持管理に市民の税金が投入されているので、市外の方には見合った額の負担をお願いしている。

青風会

山田 真功

### 農家の賦課金を減額する方法

質問

十三沖永の理事長報酬72万円の財源の内訳は。

建設部長

組合員の賦課金と関係市町が負担している農地外負担金から支出している。

質問

理事長報酬は12倍も格差のある農地外負担金から支払われている。なくすべきでは。

建設部長

勉強会や協議会で決定していく。

質問

水利事務所の土地改良区を合併して、職員数を8名にして、役員会・総代会などの費用も5分の1にすると関係市町の負担額の削減はいくらか。その浮いた分を農家が負担する賦課金の軽減に充てるべきでは。

建設部長

仮に試算した結果で約2600万円の削減が見込まれる。削減分は、農業経営の厳しい中、議員の指摘のとおり賦課金の軽減に充てていかなければならないと聞いている。

質問

農地外負担金が10アール当たり500円の領内川と6000円以上の水利事務所が管理する土地改良区のように、農地外負担金の格差があるのは、流域面積が狭く、非効率な運営をしている水利事務所の職員人件費と土地改良区理事長報酬など積み上げ方式による算出のためではないか。

建設部長

農地外負担金の差は、算出方法が定額方式と、人件費などの積み上げ方式の違いで、議員の指摘のとおり。

質問

農地外負担金が10アール当たりの単価を十三沖永・蟹江大湊・五八で2500円。日光西700円から15000円、領内川を5000円から10000円とした場合、市が5つの協議会に負担する農地外負担金の総額は、関係市町合計で1600万円の減額になるという試算結果が出た。農家の負担軽減、津島市が支出する負担金の削減になればと考える。今後、協議の場となる検討会での議論の参考、たたき台になればと提案するがいかがか。

建設部長

農地外負担金や農家の賦課金のあり方については、今後の議論の参考にさせていただきます。

## QUESTION



宇藤 久子

## 街頭防犯カメラ設置に関する件

質問

防犯カメラの設置は、どのように進んでいるのか。今後防犯カメラの普及促進は、どのように取り組んでいくのか。

市民協働部長

天王・神守中学校、市民病院など6施設に38台の防犯カメラを設置している。補正予算では、津島駅東側の自転車駐輪場に防犯カメラを2台設置する費用を提案している。また、普及促進は、防犯カメラを設置する町内会等に対し、その設置費用を補助する要綱を策定し、設置に係る経費を補正予算として今議会に提案している。

質問

町内会などに対し、どのような支援をされていくのか。

市民協働部長

町内会等が防犯カメラを設置する場合に、設置に要する費用の2分の1の額50万円を上限に補助するという補助金交付要綱の策定を予定している。



## 聴覚障がい者標識に関する件

質問

平成20年6月1日から聴覚障がい者の全ての方が普通免許を取得できるようになった。聴覚障がい者マークを表示した車に対し、安全に通行できるように配慮するために、広報紙等でPRしてはどうか。

市民協働部長

市も聴覚障がい者の方の安全確保及び交通事故を防止するため、聴覚障がい者マークのPRが必要と考えている。今後は、市のホームページや交通安全協会が発行する広報紙への掲載、交通安全教育での周知を行っていきたい。



## 高齢者の事故防止に関する件

質問

四つ葉クローバーをデザインした高齢者運転者標識の市販のステッカーを自転車の後ろに張るといふものがあるが、市においてもこのような取り組みはどうか。

市民協働部長

市としては、自転車に取りつける高齢者運転者標識を作成するという点とは現在考えていない。

小山 高史

## 津島市に新たな子育て支援を

質問

市長は、選挙公約や施政方針で子育て支援センターの土日オープンを示しているがどのように取り組むか。

市長

子育て応援都市津島の一つの公約として、早い段階で土日オープンが可能となるように考えていく。

質問

6月からスタートした病児・病後児保育室だが、「子ども子育て支援に関するアンケート調査」では利用料が高いとの声もあり、実際に1回の利用で給食費やおやつ代も含めて3000円はかかる。利用を促すために無料クーポン券を発行してはどうか。

健康福祉部長

市長の公約である市の子育て支援サービスが無料で利用できる「子育て応援券」は、利用者か2歳までとなっており、病児・病後児保育室の利用も可能だが、2歳までの需要に関しては未知数であり、年齢制限の拡大も視野に入れ制度設計する必要があると考える。

質問

「子育て応援券」を需要があるところ

に支援していくため、2歳までの利用制限を拡大して、またファミリー・サポート・センター等への利用も可能とすべきでは。

市長

年齢制限が2歳までというのは一つの案として提示している。色々な場所で子育て応援券が、使用できて使い勝手の良いものになるように、市として全力で取り組んでいく。

質問

今年度の放課後子ども教室の待機児童は80名であり、来年度以降も更に増加すると考えるが、市として待機児童対策はどのようなのか。

教育委員会事務局長

市内の小学校の教室は空きがないため、放課後の時間のみ活用できる場所を共同スペースとして利用する方法もある。学校と調整を図っていく。

質問

不妊治療への助成拡大は、市長が掲げる「子どもが生まれる前から産み育てるまで、子育て世代を丸ごと支援する」施策にマッチするが、不妊治療への助成拡大の考えは。

市長

まずは子育て応援券を先行し、財政状態とも合わせて検討していきたい。

新生クラブ 垣見 信夫

高齢者の見守りについて

質問

高齢化社会の到来である。本市では実に4人に1人が高齢者である。平成22年の国勢調査では15,533,000人で年々増加している。来年の国勢調査ではさらにこの数字が増えることが予想される。

本市の緊急通報システムは、首にかけたペンダントを緊急時に自分で押して異常を伝えるシステムである。このシステムは自分で異常を訴えることが問題。入浴中、心臓麻痺には対処が困難である。人感センサーを利用した見守り事業を提案する。これは、玄関・居間・トイレ等に設置し一定時間そのセンサーが作動し確認するシステムである。旧公団では、高齢者世帯に取り付けが始まっている。この事業を取り入れてはどうか。

市長

高齢者の孤独死をなくす上で重要なシステムである。ホンディアの活用、各団体との協定を踏まえて高齢者の支援、見守りをする体制整備を構築することが必要。財政上のことを踏まえ活用できる国や県の補助制度を調査・研究して検討する。

星野副市長の津島市への想い

質問

星野副市長は県の幹部職員を長く務められ、まちづくりのエキスパートと聞き及んでいる。県西部に位置し津島神社・尾張津島天王祭・藤まつり等の「観光のまちつしま」か、名古屋駅まで直線で16キロの地の利を生かして「ベッドタウンのつしま」。また、基幹産業は農業か商業か工業か、日比市長の選挙公約である成長戦略にどのようにアドバイスされるのか。

副市長

観光、ベッドタウン、農業、商業、工業というものではなく欲張りかもしれないが、それをやってみていかないとけない。それぞれが「まち」だと想っている。まちは皆がつくり続けたもので、これからこのまちで暮らし続けていくために、つくり続けていくものと思っている。地域の方々が、自分たちのまちが好きだからよりよくしていくことに、手を貸していく。この「まち」が好きだという人たちが多く集まるように、市長と皆さんと一緒に頑張っていく。



COMMITTEE

委員会

厚生病院委員会レポート

議案第42号 国民健康保険税賦課徴収 条例の一部改正

Q 国民健康保険税の賦課限度額の引き上げと、軽減措置の拡充についてそれぞれの影響額は。

A 後期高齢者支援分79世帯で549万円余、介護分25世帯で121万円余で合計670万円余の保険税増額、軽減措置の拡充については、5割軽減世帯は後期高齢者支援分668世帯と介護分275世帯が増加、2割軽減では後期高齢者支援分70世帯と介護分32世帯が減少となり、合わせて2739万円余の減額となる見込みである。

Q この改正により最高限度額は81万円となるが、再度の引き上げがあるのか。

A 検討課題になっている。

Q 国は最高限度額の引き上げに併せて、負担の高い中間所得層の軽減をするよう指導していると思うが、市としてそうした対応はないのか。

A 国保財政上厳しいものがあり、現在は考えていない。

議案第47号 一般会計補正予算(第一号)

Q 地域福祉計画策定業務の事業目的と計画の進め方については。

A 平成28年度から新たな計画を実施するもので、前回の23年から27年度計画を2年間かけて見直すもの。地域コミュニティに入りながら、地域の課題を一緒に考えていく。

Q がん検診推進事業委託料として656万円余計上されているが、無料クーポン券対象の受診率は。

A 初年の21年度は乳がん41.4%、子宮頸がん30.3%、24年度は乳がん19.1%、子宮頸がん21.7%である。

Q こころの体温計運営管理業務委託料は自殺対策の相談業務であるとのことだが、相談窓口を開設するのか。

A パソコンやスマートフォンで簡単な質問に答えていくと心の落ち込み度やストレス度などがチェックできるというもの。

Q 神守祖父母の家屋上構造物撤去実  
施設計委託料が計上されているが、4  
月1日に地元移管が行われたとのこと  
であり、当初予算で計上すべきではな  
かったのか。また今後の施設改修要望に  
ついてはどのように対応するのか。

A 市全体の予算の枠の中で当初予算  
に計上できなかった。財政当局と折衝  
しながら現状で問題のある箇所を修繕  
していく。

### 議案第48号 国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)

Q 補正62万円余は還付加算金の算定  
誤りによる未払い分であるとのこと  
であるが、対象者は何人であるか。

A 286人である。

### 議案第50号 介護保険特別会計補正予算 (第1号)

Q 健康体操のイメージソングとDVD  
はこういったものであるか、また活用  
法は。

A 健康推進員の方からご当地ソング  
を入れ歌いながら踊れるものをつくり  
普及したいとの要望があった。老人クラ  
ブなどあらゆるところで普及をすすめ

る。

### 議案第54号 子ども医療費支給条例の一部 改正

Q 小学校3年生まで完全無料にな  
ることによって、3年生までは医療機関  
の窓口での支払いはなくなるのか。

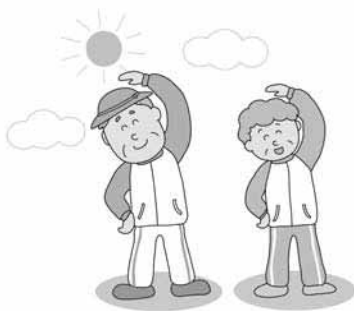
A その予定である。

### 議案第55号 一般会計補正予算(第2号)

Q 子ども医療費の無料化拡充予算  
3371万円余の算出根拠は。

A 近隣市町村の平均単価である1人  
2237円に、対象者1800人が月に  
1.395回受診すると仮定した半年  
分を計上したものである。

請願2件の内、2件不採択。  
陳情1件の内、1件不採択。



## 文教建設委員会レポート

### 議案第46号 学校給食共同調理場設置条例 の一部改正

Q 9月の調理場オープンに向けて、工  
事の進捗状況はいかがか。

A 5月末の段階で、神守学校給食共  
同調理場が55%、暁学校給食共同調理  
場が52%、両調理場に共通する厨房設  
備の工事が65%である。

Q 現在の学校給食調理場が廃止され  
た後、建物の敷地を含めて、どのような  
跡地利用を考えているか。

A 検討委員会を立ち上げて跡地利用  
を考える予定である。今後実際に廃止  
された段階で検討する。

Q 建物はかなり古いので、取り壊す  
ことになるのか。

A 県道と市道の拡幅に伴って、事務所  
棟とプロパン庫と倉庫棟を取り壊す解  
体工事の費用を今回の補正予算で上程  
しているが、調理棟についても、今後取  
り壊すかどうかについて検討する。

### 議案第47号 一般会計補正予算(第1号)

Q 錬成館の改修工事の実施設計委託  
料として、1588万円余計上されてい  
るが、錬成館の天井部分についても改修  
するということだが、全ての階を行うの  
か。

A 1階から3階まで全て行う。

Q 工事の日程は。錬成館を使用して  
いる関連団体への周知や調整を行って  
いるか。

A 平成27年度の初め頃に入札し、そ  
の後工事に入り、期間は約半年間位の  
予定。これから周知をしていき、柔道と  
剣道については、藤浪中学校や神守中  
学校の武道場をお願いする形になり、  
武道以外の利用者の方には、生涯学習  
センターや文化会館などの利用をお願  
いしていく。

Q 学校給食共同調理場の一部解体の  
工事請負費として、1742万円余計  
上され、県道・市道拡幅に伴って管理棟  
やプロパン棟を解体するという事であ  
るが、費用の内訳は。

A 解体費用は全額市の一般財源。

Q 解体費用の見積もりはどのように  
行ったのか。

A 名古屋市中川区の解体業者、1社  
のみで行った。

**Q** なぜ津島市の業者から見積もりを取らなかつたのか。

**A** 事務所棟の解体を受託してもらえない事業者が心当たりがなかつたため。

**Q** 津島市の業者が分からず、何故この名古屋の業者が分かつたのか、だれから教えてもらったのか。

**A** 前副市長である。

**Q** この業者が入札にそのまま参加することが考えられるが、どう考えても癒着ではないのか。

**A** 通例で言えば、予算段階ではどこから見積もりをとつても良いということであるが、できれば内部の積算基準を持つて、それによつて積算するのが正しい。しかし、そのルールが当市には無いというのが問題であるので、指名業者リストと照らし合わせた上でしっかりと対応していく。

**議案第51号  
上水道事業会計補正予算  
(第一号)**

**Q** 又吉配水場の1月の断水事故では、市民に大きな迷惑をかけたが、この補正予算の執行により、事故が起きる可能性は減少するか。

**A** この設備更新事業が完了すれば、今回起こつたような事故は減少すると考えている。

**Q** 又吉配水場に配水ポンプは6台あり、断水事故の際には、1台のポンプに繋がつていた配水管の継手部分が外れ事故になつたが、パイプが破裂したのは一番古いものか、他にも同じようなパイプがあるのか。

**A** 今回外れたのは一番古いもので、同年代のものは4台ある。

**Q** その4台については、破裂する可能性が非常に高いが、今後の対応は。

**A** その4台についても、今回の設備更新実施設計の対象にしていきたい。



**総務協働委員会レポート**

**議案第41号  
市税条例等の一部改正**

**Q** 今回の改正による民間施設への償却資産関係の影響は。

**A** 対象となる資産はかなり限定的であるので、影響は僅少である。

**議案第44号  
火災予防条例の一部改正**

**Q** 改正内容に「火災と紛らわしい煙等を発するおそれのある行為等」とあるが、その内容は。

**A** 昨年、京都府福知山市で発生した花火大会の事故を受けて改正されるもので、紛らわしい煙には、相互に面識がある者が参加する催し等、具体的には、バーベキュー等を行った場合は、対象にならない。

**議案第47号  
一般会計補正予算(第一号)**

**Q** 委員会会議録作成業務委託料の177万円余について、今年度特別委員会できなく、常任委員会で決算審査を行う場合、対応は可能か。

**A** 決算審査特別委員会の時間も含めた予算であり対応は可能である。

**Q** 津島市公式ホームページ再構築業務委託料1974万円余について、CMSシステムを導入している近隣自治体の動向は。

**A** 導入済の自治体の数は把握していないが、大部分になってきていると考えられる。今後は、**アクセシビリティの等級A**に準拠したホームページを見直す必要があり、現在、県内の市では3市ある。これから、ホームページを再構築していく自治体は、当市を含めて大部分が、等級Aに準拠したものになっていく。

**CMSシステムとは、**  
ホームページを構築したり編集するシステムのこと。

**アクセシビリティとは、**  
高齢者や障がい者に配慮した使いやすいホームページのこと。

**等級AAとは、**  
視覚障がい者にも利用できるようにすること。

**Q** 総合計画中間見直し支援業務委託料の213万円余について、今後どのように進めていくのか。

**A** 基本的には、必要な施策等の見直しは、担当課が考察をして文書等の作成をし、専門業者が必要な支援を行う方法を考えている。また、市民の方の組織については、平成27年度に設置して議論いただくことを考えている。

**Q** 文化会館樹木伐採等業務委託料150万円余について、業者選定の方法及び予算の見積もり先は。

**A** 委託業者は入札により決定する。予算の見積もりは、指定管理者から提出された見積書の金額を予算計上した。

**Q** 防災拠点機能整備基本設計委託料464万円余は非常用発電装置を設置予定とのことであるが、どこに設置する予定か。

**A** 現在は、1階の機械室に設置しているが、浸水リスク等を考慮し、この基本設計では、2階相当以上への設置を業者に伝えていきたい。

**Q** 東、南、北、高台寺、神島田の各コミュニティセンターの整備あるいは、耐震改修工事の実施設計、整備業務委託料として592万円余計上されているが、その修繕内容は。

**A** 東コミュニティセンターは、屋根の葺き替え、外壁、建具、内装関係の張替え、畳の表替え、事務所を改修する。南コミュニティセンターと北コミュニティセンターも同様に、外部、内部、事務所等悪いところはすべて改修する。高台寺コミュニティセンターは、雨漏り防止のため屋根と外壁の修繕を予定している。高台寺コミュニティセンターは、建具がかなり歪んでいるため、外側からもう一つ建具を取り付ける工事を予定している。



議案第52号  
海部津島土地開発公社の解散  
について

**Q** 加盟団体の各議会で同意されれば解散となるが、資本金7000万円が返還されることについて説明を。

**A** 公社に7000万円の出資金があり、そのうち当市が出資している1000万円は返還される。また、事業を行っている間の経費が630万円ほど残っており、そのうちの110万円ほどが分配される予定である。

請願2件の内、1件採択、1件不採択。陳情2件の内、2件不採択。

平成26年第3回定例会は9月1日(月)～9月25日(木)までの開催予定です。議会の傍聴にぜひお出かけください。

- ★本会議は午前9時から開会します。
- ★日程は、変更になる場合があります。
- ★詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

☆9月 1日(月)	本会議
☆9月 8日(月)	一般質問
☆9月 9日(火)	一般質問
9月10日(水)	厚生病院委員会
9月11日(木)	文教建設委員会
9月12日(金)	総務協働委員会
☆9月25日(木)	本会議

☆印は、クローバーTVの生中継及び夜7時からの再放送を予定しています。

主な議会報告

5月	7日	議会運営委員会	6月	2日～24日	第2回定例会	7月	4日	議会だより編集委員会
	12・13日	第1回臨時会		2日	本会議		10日	議会改革協議会
	12日	本会議		9・10日	一般質問		14日	議会だより編集委員会
	13日	本会議 議会改革協議会		11日	厚生病院委員会		15・16日	厚生病院委員会 行政調査視察
	22日	厚生病院委員会 文教建設委員会		12日	文教建設委員会		22日	議会だより編集委員会
	23日	総務協働委員会 厚生病院委員会	13日	総務協働委員会				
	27日	議会運営委員会 議会改革協議会	23日	議会だより編集委員会				
			24日	本会議				
			27日	議会改革協議会				

《主役はみなさん、あなたの声を!》



津島市議会

# 議会報告会



津島市議会では、市民の皆様が開かれた議会を目指し、議会の活動状況を報告し、市民の皆様と自由に情報及び意見を交換する「議会報告会」を開催します。

ご都合の良い会場へ、ぜひお出かけください。

開催日時	対象校区	会場	担当班
8月22日(金) 午後6時半～8時半	蛭間小	蛭間地区 コミュニティセンター	2班
8月23日(土) 午前10時～正午	西小	大崎会館	1班
	南小	南文化センター	3班
	神島田小	神島田公民館	4班
8月24日(日) 午前10時～正午	東小	児童科学館	1班
	北小	文化会館	2班
8月24日(日) 午後1時半～3時半	神守小	神守公民館	4班
	高台寺小	高台寺校区 コミュニティセンター	3班

お願い：お飲物は用意しておりませんので、各自でご持参ください。

※ 担当班は、次の議員で構成します。

<p style="text-align: center;"><b>1班</b></p> <p>津田秀幸 伊藤恵子 後藤敏夫 西山良真</p>	<p style="text-align: center;"><b>2班</b></p> <p>垣見信夫 長尾日出 宇藤久哲 加山藤高</p>	<p style="text-align: center;"><b>3班</b></p> <p>日比野郁郎 大加鹿一 上藤則 森野聡達</p>	<p style="text-align: center;"><b>4班</b></p> <p>杉山良介 東田雅 本井貴 安井英仁</p>
---	---	---	---

お問い合わせは、津島市議会事務局(代表24-1111)へ

次号は、11月に発行予定

議会だよりは、津島市議会の責任において発行しています。

◎ 杉山良介 ◎ 後藤敏夫  
◎ 垣見信夫 ◎ 大鹿一八  
◎ 本田雅英 ◎ 宇藤久子  
◎ 安井貴仁 ◎ 副委員長

議会だより編集委員会

本年4月に行われた市長選挙により日比新市長が選出され、市議会では5月に開催された臨時会で長尾新議長を選出し、議会も新たな役割構成になりました。新しい体制になった6月議会では14人の議員が一般質問に立ち、常任委員会では時間切れにより翌日に審議を再開するなど活発な議論が展開されました。限られたスペースに議会活動の総てを紹介することはできませんが、市民の皆さんに開かれた市議会を目指しておりますので、今月開催される議会報告会にも多くの方々が足を運んでくださるのを期待いたしております。

議会だよりの編集委員も新たなメンバーに入れ替わっており、過去の議会だよりを読み直すとともに、新たな気持ちで議会の情報提供に取り組みますので、皆様のご意見や読まれたご感想をお寄せいただければ幸いです。

編集後記